

◎職員給与費（112人）  
1億271万円

【質 疑】 退職の部分の給与費が2千654万3千円の増額だが、当初の見込みより増えているということか。  
【答 弁】 当初は定年退職者のみ計上したが、4月以降に早期退職者5名分について追加補正するものである。

◎自治体賠償請求事業  
162万円

【主な内容】 東京電力ホールディングス株式会社に対し、東京電力福島第一原子力発電所の事故により生じた損害賠償請求を実施する弁護士費用（着手金）

【質 疑】 思うように進まないが、今後の見通しは。  
【答 弁】 南相馬市として東京電力へ請求したもののうち、賠償対象外とされたのは33・5億ほどであり、その部分を今回ADRに申し立てをする事により、民間の弁護士に委託することとなる。

◎焼却灰等一時保管対策事業  
776万円

【主な内容】 原子力災害により発生した災害廃棄物等に係る放射性物質の測定等を行い適正に管理する。また、最終処分場の埋立て容量が逼迫していることから、保管飛灰及び仮保管施設の撤去工事を行う。

【質 疑】 保管されている焼却灰を業者に委託して処分をするが、来年度以降の処分を何う。  
【答 弁】 今年度は576トンの処分を予定しているが、次年度は750トンを見込んでいる。今後も処理量の増加を協議しながら処分を進めていきたい。

【質 疑】 事業費の財源だが、埋設有害鳥獣処理事業は国から、福島原子力災害避難区域等帰還・再生加速事業委託金で措置されているが、国の委託金での措置がされないか何う。  
【答 弁】 福島原子力災害避難区域等帰還・再生加速事業委託金だが、埋め立てに

◎小高区認定こども園整備事業  
2億2千249万円

【補正内容】 建設工事・工事監理（前金）  
・総事業費（概算）  
7・3億円

【質 疑】 平成32年4月の開園に向けて、定数123人の内、60人程度からスタートしたいということだが、預かる60人の子供の年齢別の内訳を何う。  
【答 弁】 現時点では、0歳児6人、1歳児6人、2歳児6人、3歳児12人、4歳児15人、5歳児15人の合計60人を想定している。また、幼稚園は、3歳児4人、4歳児6人、5歳児6人で合計16人を想定しており、残りの44人が保育園の想定である。

【質 疑】 職員の配置と人数について何う。  
【答 弁】 職員については、0歳から5歳までの児童がおり、各年齢2人ずつで12名を予定している。

◎埋設有害鳥獣処理事業  
2千991万円

【事業内容】 掘り起し・処理・運搬業務委託。仮設焼却炉での処理委託（環境省）。

【質 疑】 埋設有害鳥獣を掘り起す現場では消臭剤を撒いたりといういるなど対応をするようだが、搬送時の対策について何う。  
【答 弁】 臭い対策は国の埋設動物の処理方法に準じ実施することになる。また、フレコンバック搬送に当たっては、二重にした上にトラックをシートでぐるみ養生する。さらに放射線量については、搬出前後に測定し万全の体制での運搬を予定している。

◎保健衛生総務一般経費  
63万円

【質 疑】 産後ケア事業に係る平成29年度母子保健衛生国庫補助金の確定に伴う、国への還付金の補正増額だが、当初69万8千円の予定が、6万5千円で終わったことについて何う。  
【答 弁】 見込んだ日帰りケア、宿泊ケアの利用者数が少なかつたことだが、出産後の母子保健事業、助産師会の事業、医療機関等の事業を利用することに伴い、育児不安、育児の困難さをそちらの事業で代替えたものと捉えている。

【質 疑】 来年度どの様に取組むのか何う。  
【答 弁】 今年度同様、母子保健事業を通しながら、事業についてPRしていく。南相馬市立総合病院で宿泊ケアを実施できる体制を整え、今年度から開始し、さらにケアが必要な方に届くよう支援していきたい。

◎健康増進事業  
124万円

【補正内容】 生活習慣病の予防・改善のための健康教室の実施。委託先・ライザップ株式会社  
・対象者…AまたはBの要件を満たす者  
A.平成30年度サンサンチャレンジ参加者で体重3kg減少未達成  
B.最近の健診結果でBMI25以上の64歳以下  
人数…20人  
回数…1回90分×8回

【質 疑】 サンサンチャレンジの参加者ということになっているが、参加者でなかった方も参加したい場合は可能なか。また、来年度以降の取組を何う。  
【答 弁】 64歳以下で、最近の検診結果等でBMI25以上の方であれば参加を認めることとしている。また、来年度も事業を継続できるように、要望していく。

◎南相馬市鎮魂復興市民植樹祭開催負担金  
1千171万円

【補正内容】 平成31年度南相馬市鎮魂復興市民植樹祭開催に向けて準備費用として、高盛土壌改良工事に係る負担金の増額。  
・実施主体…南相馬市鎮魂復興市民植樹祭実行委員会

【質 疑】 5千平米の土地に土壌改良費1千100万円を投じるとするのは、1反歩当たりにする約220万円という膨大な単価になる。過剰な対応策ではないか何う。  
【答 弁】 少しでも早く命を守る防災林を目指し、育成を早くするため、土壌改良が必要ということから、このような対策をとっている。樹種の選定に当たっても、この会場の特性、地域の特性、気候に合った樹種を選定して植えている。

◎水産業共同利用施設復興整備事業  
585万円

【補正内容】 水産物荷さばき施設、作業保管施設用備品整備。

【質 疑】 真野川漁港の水揚げの状況については。  
【答 弁】 震災前は1千443トンであったが、平成29年度は329トンである。試験操業中ではあるが、計画的に対象魚種を増やしなが試験操業を進めていく。

【質 疑】 今回消耗品費、設備購入費の計上であるが、なぜ12月補正計上になったのか。  
【答 弁】 今まで真野川漁協と水産庁とで、共同利用漁船等復旧支援事業補助事業で行ってきたが、補助事業が27年度で終了となった。真野川漁協に所属する船の復旧が進み、カゴ等の備品が不足状態であったため、水産庁と相談し復興加速化交付金の中で事業を計上することとなり、12月補正計上となった。

◎健康増進事業  
124万円

【補正内容】 生活習慣病の予防・改善のための健康教室の実施。委託先・ライザップ株式会社  
・対象者…AまたはBの要件を満たす者  
A.平成30年度サンサンチャレンジ参加者で体重3kg減少未達成  
B.最近の健診結果でBMI25以上の64歳以下  
人数…20人  
回数…1回90分×8回

【質 疑】 サンサンチャレンジの参加者ということになっているが、参加者でなかった方も参加したい場合は可能なか。また、来年度以降の取組を何う。  
【答 弁】 64歳以下で、最近の検診結果等でBMI25以上の方であれば参加を認めることとしている。また、来年度も事業を継続できるように、要望していく。

◎水産業共同利用施設復興整備事業  
585万円

【補正内容】 水産物荷さばき施設、作業保管施設用備品整備。

【質 疑】 真野川漁港の水揚げの状況については。  
【答 弁】 震災前は1千443トンであったが、平成29年度は329トンである。試験操業中ではあるが、計画的に対象魚種を増やしなが試験操業を進めていく。

◎産業復興・企業誘致促進事業  
1千569万円

【補正内容】 小高中央工業団地の案内看板の設置。

【質 疑】 小高中央工業団地の拡張やあらたな企業誘致の計画がない中で何故看板を設置するに至ったのか。  
【答 弁】 現時点で、小高中央工業団地のところに看板がないため、看板を設置することで工業団地の存在、国道を通行する車両等にPRすることができる。南相馬市の産業復興の復興、機運の醸成に寄与するものもあり、市民の方にも、小高区の復興をわかりやすく情報発信をしたいと考え設置するもの。他の工業団地を参考に整備する一般的な看板である。



真野川漁港



有害鳥獣焼却施設の安全祈願祭（原町区小沢）